

DROP APARTHEID FROM YOUR BAGGAGE!

アパルトヘイトに加担しない旅を！

エシカルな旅行者としての誓約

エシカルな旅行者として、私は旅を通じてさまざまな場所や文化と出会い、そうした交流に前向きに関わることを大切にしています。戦争犯罪、アパルトヘイト、ジェノサイドは、この価値観と決して相容れません。

Booking.com と Airbnb は、パレスチナ人の土地を奪って建てられた違法入植地の宿泊施設を掲載し、パレスチナ先住民コミュニティに対するイスラエルのアパルトヘイトや民族浄化から利益を得ています。これは戦争犯罪の加担にあたり、私はこのような構造に自分の旅が組み込まれることを拒否します。

両社とも、自社のプラットフォームが戦争犯罪者やジェノサイドの加害者にサービスや「安全な居場所」を提供しないための十分なデューデリジェンス（適正調査）の仕組みを導入していません。特に Booking.com は、パレスチナ人の権利を擁護する掲載施設による連帯表明を検閲し、報復的な対応を行っています。

両社は、国連および主要な国際人権団体から、違法なイスラエル入植地に関与している企業として名指しされています。

また、Booking.comとAirbnbは、地域のジェントリフィケーション（高級化）を進め、観光の過度な商業化を助長し、地元の宿泊事業者（B&B、ホテル、ホームステイなど）を搾取する構造にも責任があります。

イスラエルによるアパルトヘイトや戦争犯罪への加担をやめるまで、私は可能な限り Booking.com や Airbnb を利用せず、代替手段の利用や、宿泊施設への直接予約を選ぶことを誓います。

キャンペーン背景

2025年7月に開始された「No Room for Genocide（ジェノサイドに居場所はない）」キャンペーン以降、パレスチナBDS民族評議会（BNC）は、世界各地のパートナー、同盟者、サポーターに対し、各国政府が国際法上の義務として、戦争犯罪、人道に対する罪、パレスチナ人に対するジェノサイドに関与した者に「安全な居場所」を提供しないよう圧力をかけることを呼びかけてきました。これは、各国政府が国際法に則り、イスラエルによるジェノサイド、アパルトヘイト、違法占領への加担を終わらせ、責任追及を徹底するための法的義務の一環です。

このキャンペーンの開始以来、「戦争犯罪者を入国させるな」「ジェノサイドに居場所はない」というスローガンのもと、世界各地で虐殺加害者や戦争犯罪者に責任を取らせるよう求める連帯行動が広がっています。

このキャンペーンは二つの軸で展開されています。一つは、各国政府に対して入国管理政策の見直しを求めること。もう一つは、Booking.com や Airbnb などの企業に対し、イスラエルのアパルトヘイト、民族浄化、戦争犯罪への加担をやめるよう圧力をかけることです。

このため、私たちは世界中のサポーターや連帯団体に加え、イスラエルのジェノサイド、アパルトヘイト、違法占領に反対の立場を表明している、または表明しようとしている宿泊事業者とも連携しています。

キャンペーン・ツールキットはこちら。[（日本語版では削除する？）](#)

誓約の呼びかけ

この誓約は、個人のサポーターやエシカルな旅行者に対し、可能な限り Booking.com および Airbnb の利用を避けることを呼びかけるものです。両社は、パレスチナ先住民コミュニティに対するイスラエルのアパルトヘイト、民族浄化、戦争犯罪に加担しているからです。

両社は、パレスチナ人の土地を奪って建設された違法入植地（これは戦争犯罪にあたります）を、自社サイト上でイスラエルの賃貸物件として掲載しています。Booking.com は、特にテルアビブ事務所を通じて、掲載文言を厳しく管理し、人権（とりわけパレスチナの権利）への支持表明を積極的に検閲してきました。さらに両社とも、自社のプラットフォームが戦争犯罪者やジェノサイド加害者にサービスや安全な拠点を提供しないためのデューデリジェンス体制を確立していません。

みなさんもこの誓約に名前を連ね、これらの企業に対する圧力を強め、共犯関係を終わらせる動きに加わりましょう。